

小中でめざす姿の共有！

～学校運営協議会で熟議を行いました～

先日から、小中一貫の取組を立て続けにいくつか行いました。今回の記事では、それらのいくつかを紹介します。



小中合同あいさつリレー

あいさつは、日常生活の基本。昼休みに小中の全校児童・生徒が体育館に集まり、あいさつリレーを行いました。中学生が引っ張りつつも、小学生たちの元気で大きなあいさつの声が体育館じゅうに響き渡りました。寒い日の昼休みでしたが、心はぽかぽかと温くなりました。

小学4・5年生による中学校委員会見学

小学生たちが、中学校の委員会の様子を見学に来ました。中学生が企画したり話し合ったりする姿を見ながら、小学生がたくさんのメモをとっている姿が印象的でした。

こうした生徒会の主体的な取組が小中で共有されていくことは、双方にとってたくさんのメリットがありますね。



学校運営協議会における熟議を通して ～ふるさと学習を柱とした地域・学校連携カリキュラム～

最後は、学校運営協議会での熟議です。小学5・6年生と中学1・2年生が参加して、来年度からの「総合的な学習の時間（ふるさと学習）」を柱にした「地域・学校連携カリキュラム」について話し合いました。生徒・教職員・地域の三者が「身につけたい資質」を共有した後、これまでの総合的な学習の時間を振り返りつつ、来年度からのよりよい学びにつなげるための意見をそれぞれの立場から出しました。



来年度からの「育てたい資質・能力」を三者が共有することができました。

これが来年度のふるさと学習につながり、より充実した教育活動に進化していくことでしよう！

